

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
大学連携・交流事業		南区役所区政企画室			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
<p>「文化と教育の都市(まち)」をめざし、南区における教育ブランドの確立に向け区内大学等との交流・連携により南区の課題解決につながる取組を行う。また、堺市南区政策会議の議論を踏まえた取組を区内教育機関と連携し、南区ブランド戦略を推進する。</p>	<p>【桃山学院教育大学】 大学の専門性を活かした、みなみ・みどりわくわく教室での連携</p> <p>【帝塚山学院大学】 ・SNSの活用や動画作成など魅力発信における連携 ・南区の農産物を活用した特産品づくり</p> <p>【南区近隣大学】 スポーツ推進実行委員会主催の緑道ウォーキングへの参画</p>	SNS投稿回数	-	15	28
		動画コンテンツ作成数	4	1	2
		-	-	-	-
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<p>◎ 南区内及び近隣の大学と連携を行うことにより、地域の魅力向上及び新たな魅力創出、また学生の「ふるさと意識」の醸成につながることから、実施する妥当性は高い。</p>	<p>◎ 緑道ウォーキングに南区近隣大学が参画しブースの企画・出展を行ったほか、SNSを活用した南区の魅力発信等について、区内大学と協働し取り組むことができた。</p>	<p>○ 帝塚山学院大学と連携して南区の農産物を活用したレシピを考案し、榎塚台レストランでお弁当として販売した。お弁当は好評につきすべて完売することができ、地域住民に本事業を知っていただくよい機会にもなった。 また緑道ウォーキングでは近隣大学がしゃぼん玉体験ブースを設置し、親子連れのみならず、イベント参加者に広く楽しんでいただくことができ好評であった。</p>	<p>◎ 緑道ウォーキングで設置したブースの企画・運営は大学主体で実施したため区の負担は少なかった。その他の取組についても、本市による情報発信に加えて大学側でも自主的に取組に関する情報発信を行ったことから、本事業について効率的に周知を図ることができた。</p>		
⑤自立発展性	総合評価				
<p>○ 本事業を通じて、学生の南区の魅力への関心を高め、南区へのふるさと意識を醸成するとともに、大学との連携体制を強化することができた。今後も学生の視点を取り入れながら協働して事業を推進していく。</p>	<p>◎ X(旧Twitter)やInstagramなどSNSを活用し、南区の魅力を学生の視点から発信したほか、学生が考案したレシピを活用したお弁当の販売など、魅力発信及び「文化と教育の都市(まち)」をめざした南区における教育ブランドの確立、南区ブランド戦略の推進に繋げることができた。 また南区近隣大学が緑道ウォーキングに参画し、幅広い参加者が交流できるブースの企画・出展を行ったことで、南区の課題の一つである世代・地域間での交流の希薄化の解決に貢献することができた。</p>				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>南区内及び近隣の大学と交流・連携することで、「文化と教育の都市(まち)」を目指した南区における教育ブランドの確立、学生の南区への「ふるさと意識」の醸成、及び世代や地域を超えた人の繋がりの促進が期待できることから、今後も本事業を継続して実施し、連携を強化していく。</p>				